**１：補助事業の具体的取組内容**

① 現在の事業の状況

〇　概要

〇　売上構成

〇　強み

〇　弱み

〇　機会

〇　脅威

〇　事業環境

コロナ禍前は、　　　　　　に対し、2020年　　月以降　　　という状況になっている。



〇　事業再構築の必要性

〇　事業再構築の具体的内容

・今回の補助事業で実施する新分野展開や業態転換、事業・業種転換等の取組、事業再編又はこれらの取組について具体的に記載してください。

〇　提供する製品・サービス

〇　導入する設備、工事等

機械装置等の型番、取得時期

　・

　・

　・

技術の導入や専門家の助言、研修等の時期

　・

　・

　・

※費用・スケジュールは別紙１および３参照

② 応募申請する枠　　　　通常　　枠　　　　事業再構築の種類　　業態転換　　　型

【製品等の新規性要件】について

・過去に同じ方法で製造等していた実績がないこと、

　　新規事業での製品は　　　であり過去に製造等していた実績はなく当社にとって新しい取り組みとなる。

・主要な設備を変更すること

　既存主要設備

　新規主要設備

　　新規事業で　　　　を製造するには　　　　は不可欠であり既存主要設備等では対応できない。よって、新規に　　　　　を導入する。計画終了時には主要設備となる予定となっている。

・定量的に性能又は効能が異なること

　性能や効能の違い

(例:既存の製造方法と比べ、新たな製造方法の方が、生産効率、燃費効率等がX%向上する等)

【設備撤去等要件】について

・既存の設備の撤去や既存の店舗の縮小等を伴うもの

【売上高10％要件】について

　5年後の目標総売上高　　　　千円に対し、新製品等については10％以上である　　千円を計画している。

③ 差別化＆競争力強化の実現について

〇　方法＆仕組み

〇　差別化内容

・他者との差別化

・既存事業との差別化

〇　実施体制

④ 既存事業の縮小又は廃止、省人化により、従業員の解雇を伴う場合には、再就職支援の計画等の従業員への適切な配慮の取組について具体的に記載してください。

**２：将来の展望（事業化に向けて想定している市場及び期待される効果）**

① 本事業の成果が寄与すると想定している具体的なユーザー、マーケット及び市場規模等

　〇　具体的なユーザー

　〇　マーケット及び市場規模等

（参考）経済産業省において、市場動向等を簡易に把握できる「統計分析ツール」を新たに開発、公開しています。鉱工業品約1,600品目を対象として、簡易な操作で生産動向等を グラフ化することができます。必要に応じて、自社の事業計画作成にご活用ください。

・統計分析ツール「グラレスタ」のURL：<https://mirasapo-plus.go.jp/hint/14583/>

　〇　事業成果の価格的・性能的な優位性・収益性

　〇　事業成果の課題やリスクとその解決方法

② 本事業の成果の事業化見込みについて、目標となる時期・売上規模・量産化時の製品等の価格等について簡潔に記載してください。

売上高については、初年度に　　　　　　千円、5年後には　　　　千円を目指す。

※　下図参照

　量産化時の製品の価格

**３：本事業で取得する主な資産**

① 本事業により取得する主な資産（単価50万円以上の建物、機械装置・システム等）の名称、分類、取得予定価格等を記載してください。

（補助事業実施期間中に、別途、取得財産管理 台帳を整備していただきます。）

　※　別紙　１参照

**４：収益計画**

① 本事業の実施体制、スケジュール、資金調達計画等について具体的に記載してください。

〇　実施体制

　　　　　　　　　　責任者　　　　　　　　担当　　　　　　　　　備考

統括

　　経理

　　システム

　　販促

　　運営

〇　スケジュール　※別紙２参照

〇　資金調達計画　※別紙１　資金調達欄参照

② 収益計画（表）　※別紙３参照、詳細は別紙４参照